



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月24日

上場会社名 太洋工業株式会社
 コード番号 6663 URL <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 園部 直孝
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2018年12月21日～2019年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	2,983	12.9	60		36		4	
2018年12月期第3四半期	3,424	12.1	115		122		68	

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 0百万円 (99.3%) 2018年12月期第3四半期 61百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	0.75	
2018年12月期第3四半期	11.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	5,427	3,269	59.4
2018年12月期	5,255	3,298	62.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,224百万円 2018年12月期 3,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		5.00	5.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2018年12月21日～2019年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,233	7.6	2	98.2	14	89.0	33	51.6	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	5,872,000 株	2018年12月期	5,872,000 株
2019年12月期3Q	1,507 株	2018年12月期	1,507 株
2019年12月期3Q	5,870,493 株	2018年12月期3Q	5,863,582 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦を巡る緊張の増大や原油価格の上昇等から、企業の業況判断は慎重さを増し輸出を中心に弱さが見られたものの、雇用・所得環境の改善が続く中で企業収益は高い水準で底堅く推移するなど景気は緩やかに回復いたしました。

当社グループが属する電子基板業界は、消費税増税後の個人消費への影響等が懸念される一方、買い替え需要期を迎えつつあるスマートフォン向けや、次世代通信規格の実用化に向けインフラ整備が進むことでIoTやAI活用の進展が期待される分野において需要の拡大が見込まれております。

このような経済環境の下、鏡面研磨機事業において販売は増加したものの、テストシステム事業、電子基板事業及び産機システム事業において販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は2,983百万円（前年同四半期比12.9%減）と、前年同四半期連結累計期間に比べ440百万円の減収となりました。

損益については、テストシステム事業、電子基板事業及び産機システム事業における売上高減少や、売上総利益率が低下したことに伴う影響により営業損失60百万円（前年同四半期は115百万円の営業利益）、第1四半期連結会計期間において受取保険金等を営業外収益に計上したことにより経常損失36百万円（同122百万円の経常利益）、第2四半期連結会計期間において固定資産売却益を特別利益に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円（同68百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(電子基板事業)

FPC試作案件の受注減によりカメラメーカー向け、高難度製品の受注減により医療機器メーカー向け及び量産案件の受注が伸びなかったことによりディスプレイメーカー向けの販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により減益となりました。

その結果、売上高1,802百万円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益252百万円（同16.2%減）となりました。

(テストシステム事業)

世界市場におけるスマートフォンの需要の落ち込みや米中貿易摩擦に伴う外需の停滞により、依然として設備投資に対する慎重姿勢が続いており、通電検査機及び外観検査機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、上述の主力製品の売上高減少に伴う影響により損失となりました。

その結果、売上高731百万円（前年同四半期比36.5%減）、セグメント損失28百万円（前年同四半期は123百万円のセグメント利益）となりました。

(鏡面研磨機事業)

研磨機の大型案件が想定どおり進捗したこと及び機械の修理・メンテナンスが増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加や売上高材料費率の低下に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高368百万円（前年同四半期比100.3%増）、セグメント利益63百万円（同534.1%増）となりました。

(産機システム事業)

新規商材等の案件獲得が低調に推移したこと及び中小型ディスプレイ向けの検査治具の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少や産業用ロボットのシステムインテグレーションサービスの立ち上げに伴う人件費増の影響により損失となりました。

その結果、売上高81百万円（前年同四半期比28.5%減）、セグメント損失17百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ323百万円増加し、2,906百万円となりました。これは主として、売上債権及びたな卸資産が減少した一方、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ151百万円減少し、2,521百万円となりました。これは主として、土地の売却及び有形固定資産が減価償却により減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ141百万円増加し、1,135百万円となりました。これは主として、未払法人税等が減少した一方、短期借入金が増加したこと及び冬季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、1,022百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、3,269百万円となりました。これは主として、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期の連結業績予想については、2019年7月29日発表の「2019年12月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	983,550	1,656,558
受取手形及び売掛金	869,951	675,137
有価証券	30,000	—
商品及び製品	236,642	188,509
仕掛品	340,310	255,931
原材料及び貯蔵品	95,261	90,055
その他	27,818	41,008
貸倒引当金	△513	△492
流動資産合計	2,583,021	2,906,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	387,917	371,235
機械装置及び運搬具（純額）	162,215	159,649
土地	1,329,019	1,177,211
その他（純額）	25,787	13,042
有形固定資産合計	1,904,940	1,721,138
無形固定資産		
その他	14,138	36,866
無形固定資産合計	14,138	36,866
投資その他の資産		
その他	759,751	768,348
貸倒引当金	△6,178	△5,185
投資その他の資産合計	753,572	763,163
固定資産合計	2,672,651	2,521,168
資産合計	5,255,672	5,427,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	144,597	119,774
短期借入金	467,008	603,702
未払法人税等	57,267	9,284
賞与引当金	—	48,876
製品保証引当金	2,260	1,443
その他	323,318	352,763
流動負債合計	994,450	1,135,843
固定負債		
長期借入金	276,213	326,553
長期末払金	64,486	56,512
役員退職慰労引当金	181,045	181,045
退職給付に係る負債	434,341	451,683
資産除去債務	7,100	7,100
固定負債合計	963,185	1,022,894
負債合計	1,957,636	2,158,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,757	800,757
資本剰余金	924,057	924,057
利益剰余金	1,458,189	1,424,452
自己株式	△99	△99
株主資本合計	3,182,904	3,149,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,931	56,928
為替換算調整勘定	23,513	18,762
その他の包括利益累計額合計	74,445	75,690
非支配株主持分	40,687	44,280
純資産合計	3,298,036	3,269,138
負債純資産合計	5,255,672	5,427,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月21日 至 2018年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)
売上高	3,424,133	2,983,293
売上原価	2,423,745	2,157,704
売上総利益	1,000,387	825,588
販売費及び一般管理費	884,693	885,707
営業利益又は営業損失(△)	115,693	△60,118
営業外収益		
受取利息	1,518	1,617
受取配当金	5,356	5,452
投資事業組合運用益	1,018	—
受取保険金	—	7,617
保険解約返戻金	819	—
作業くず売却益	5,543	13,720
その他	13,574	12,729
営業外収益合計	27,831	41,137
営業外費用		
支払利息	8,303	7,038
債権売却損	3,161	3,163
為替差損	8,615	6,144
その他	911	1,080
営業外費用合計	20,992	17,426
経常利益又は経常損失(△)	122,532	△36,407
特別利益		
固定資産売却益	1,776	42,967
投資有価証券売却益	—	887
特別利益合計	1,776	43,855
特別損失		
減損損失	1,243	—
固定資産除却損	13	53
投資有価証券評価損	—	1,357
特別損失合計	1,256	1,411
税金等調整前四半期純利益	123,052	6,036
法人税等	43,247	8,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,804	△2,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,297	2,009
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	68,507	△4,384

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月21日 至 2018年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,804	△2,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,128	5,997
為替換算調整勘定	△4,802	△3,167
その他の包括利益合計	△17,930	2,829
四半期包括利益	61,874	454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,498	△3,138
非支配株主に係る四半期包括利益	10,375	3,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年12月21日 至 2018年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,973,942	1,152,038	183,753	114,398	3,424,133	-	3,424,133
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	-	4,310	8,184	-	12,494	△12,494	-
計	1,973,942	1,156,348	191,937	114,398	3,436,627	△12,494	3,424,133
セグメント利益	301,608	123,222	9,947	939	435,717	△320,023	115,693

(注) 1. セグメント利益の調整額△320,023千円には、セグメント間取引消去等15,766千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△335,789千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年12月21日 至 2019年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,802,055	731,333	368,121	81,782	2,983,293	-	2,983,293
セグメント間 の内部売上高又 は振替高	-	1,560	15	-	1,575	△1,575	-
計	1,802,055	732,893	368,136	81,782	2,984,868	△1,575	2,983,293
セグメント利益 又は損失(△)	252,636	△28,488	63,080	△17,263	269,964	△330,083	△60,118

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△330,083千円には、セグメント間取引消去等8,215千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,298千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「基板検査機事業」としていたセグメント名称を「テストシステム事業」に、「商社事業」としていたセグメント名称を「産機システム事業」に名称を変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、事業区分の見直しに伴い、従来「基板検査機事業」に含まれていたメカトロニクス事業については「産機システム事業」に、「検査システム事業」については「テストシステム事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分により作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示した報告セグメントの区分との間に相違が見られます。